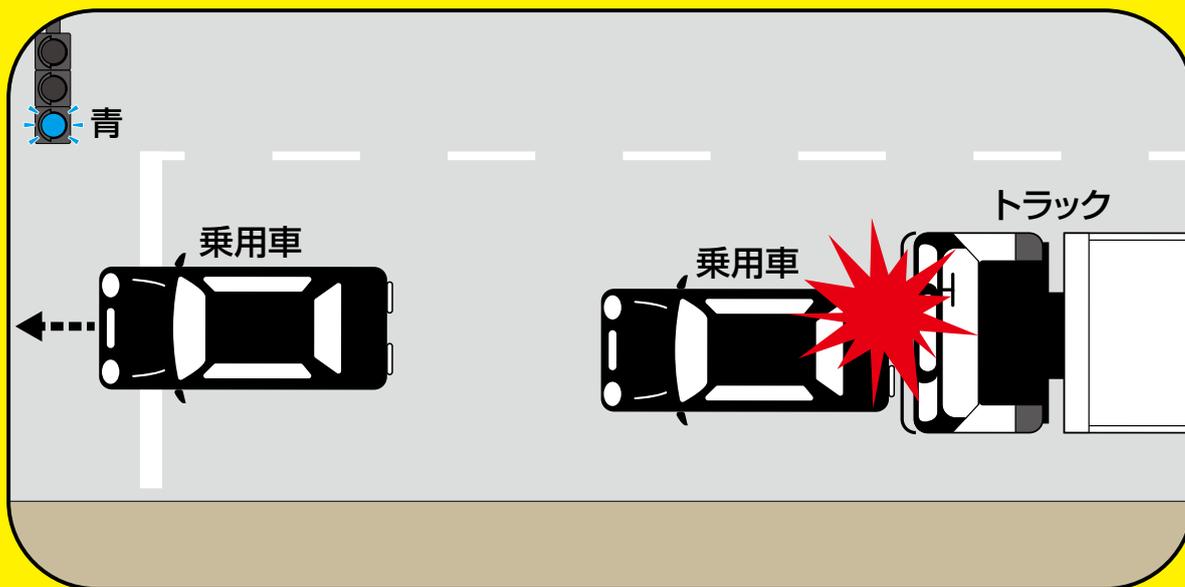


意識が低下した時の追突事故

～休憩・リフレッシュも仕事のうち!～



どのような場所か…

見通しの良い直線道路。
赤信号で車は停止している。

どのような事故か…

赤信号で乗用車数台に続いてトラックが停止。
前方の信号が青になり、先行車が動き出す。
トラックも発進するが、先行車との速度差で追突。

原因は……

トラックの前方不注視。
脇見運転やスマホ等の機器操作もしていないが運転に集中しておらず「うっかり」追突した。
先行車との速度差や十分な安全確認ができていなかった。
トラックドライバーは「しっかり前を見ていたつもりだったが、あっ!と思った時は追突していた」と話していた。



この事故を防ぐためには…

追突事故を防ぐには、前を「見て」ください。

「見る」のは当然です。「見て」ください。そして、先行車の「動静確認」と「安全確認」を行ってください。

追突事故の多くは「見ていない」事による、「動静不注視」と「安全不確認」から発生します。
また、疲れた時や眠い時は意識が低下して、普段できている事でも事故に結びついてしまいます。
暑さの中の仕事は大変です。休憩やリフレッシュも仕事のうちと考えてください。

〈言葉の意味〉

『見る』は周囲の状態を知る程度の事です。

『視る』ハッキリと見て取るといった意味があります。

『動静不注視』とは、相手車両の存在をあらかじめ認識していたが、注意して観察する事を怠った事です。

『安全不確認』とは、相手車両を見落とししたり、発見が遅れた等の事です。

《事故防止上の注意点》

- 前を視て、周りの交通を視る、そして確認する。
- 運転時に疲れを感じたら早めに休憩を取ってください。
- 前をしっかり視る体調作りもプロドライバーの技です。



事故事例ニュース

第294号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

休憩は体と集中よみがえる